

## 【校外学習の事前・事後指導】での活用事例（小学校第6学年）

### 【活用した資料】

- 小学校版「心たくましく」 p.26 第一章 「義務心を持っていない自由は…」 夏目 漱石

### 【学習指導要領に示されている道徳の内容】

- 4－（1）「公德心をもって法やきまりを守り、自他の権利を大切にしながら進んで義務を果たす。」

### ○ 校外学習の事前指導として

校外学習では、公共の交通機関を利用したり、公共の場を利用したりするとともに、自分たちで考えて行動する場面が多くなります。そこで、事前指導の際に、『心たくましく』p.26「義務心を持っていない自由は本当の自由ではない。」のことばを掲示し、「自由」とは「自分勝手に何をしてもよいということではない。自由には責任が伴い、権利には義務が伴う。」ということについて、校外学習に当てはめて考えさせ、話し合わせました。校外学習に出掛けるに当たり、見学するための班の目標を考えさせたところ、「一人一人が義務心をもって行動する。」などの目標を設定して、自ら考えて適切な行動をしようとする姿が見られました。

### ○ 校外学習の事後指導として

校外学習から帰ってきた後、もう一度「義務心を…」のことばを提示し、今回の校外学習の様子を振り返りました。「電車に乗っていた時に、周りの人の迷惑にならないように、静かにしていた。」、「グループで館内を回っていた時に、人の迷惑にならないように、ゆっくり歩いて静かに見学した。」、「係の人に説明をしてもらっている時に、少しおしゃべりをしている班員がいたので、声をかけてやめさせた。」、「お弁当を食べた時に、周りに落ちていたゴミも拾って持ち帰った。」等、ルールやマナーを守って行動できたことについて発表し合いました。